

防災事例

項目	内容
テーマ	避難者カードを工夫した学校防災活動拠点訓練(避難者どうしの協力を強める～顔の見える訓練～)
種類	①訓練 ②イベント ③備蓄 ④商品 ⑤その他
開催日時	平成 25年 11月 24日 AM 9:00～
場所	大森第四中学校
主催者	大森第四中学校学校防災活動拠点会議
対象者	地域住民、学校教職員、生徒、ボランティア
ポイント	<p>① 顔の見える訓練 避難者カードを「避難者情報記入欄」と「本人の名札」に分けて切り取り式として、参加者が名札をつけて各班の活動に参加し、互いに助け合う意識を高めながら「顔の見える訓練」を目指した。</p> <p>② 拠点本部と学校や避難者が連携 学校生徒、教職員と防災塾受講の災害時ボランティアも各班の活動に参加することで、避難所における拠点本部と学校や避難者が連携し協力しあいながら訓練を実施した。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総務・情報班 本部運営(課題付与)、情報連絡訓練、施設の安全確認 ・避難者援護班 避難者の誘導・整理、避難者名簿の作成、避難スペースの確認 ・給食・物資班 備蓄物資管理、炊き出し ・要援護者班 三角巾・AED講習・車椅子等の使用確認(消防署・消防団による指導) ・救護衛生班 トイレ組立て、医療救護所物資確認 ・地域活動班 無線連絡訓練、負傷者搬送・スタンドパイプ操作訓練
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・名札をつけて活動することで、避難者どうしが早期に知り合うことができ、より協力的で円滑な避難所運営が行えます。 ・参加した災害時ボランティアは、東日本大震災の被災地である東松島市でボランティア活動を経験し、平成24年度に区で開講した「防災塾」を受講した方々で、今回の訓練では拠点本部や各班の活動の支援を行いました。